

平成 24 年 12 月吉日

関係各位

日本学術会議健康・生活科学委員会
家政学分野の参照基準検討分科会

公開シンポジウムのご案内

初冬の候 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます

このたび、公開シンポジウム「大学教育における家政学分野の質保証 ―学士課程教育における家政学分野の参照基準について―」を開催する運びとなりました。

開催趣旨は下記の通りでございます。大変間近になってからのご案内で申し訳ございませんが、万障お繰り合わせの上ご参加いただきたくご案内申し上げます。忌憚のないご意見を頂き、より良い「参照基準」を作っていきたいと考えております。

プログラムを同封させていただきますので、ご関係の方々にもお伝え下さいますようお願い申し上げます。

開催趣旨

日本学術会議は、2008年5月文部科学省高等教育局長から学術会議会長宛てに「大学教育における分野別質保証のあり方に関する審議について」と題する依頼を受けた。このため日本学術会議は、同年6月に課題別委員会「大学の分野別質保証のあり方検討委員会」を設置して審議を重ね、2010年7月に回答「大学教育の分野別質保証の在り方について」を取りまとめ、同年8月に文部科学省に手交した。この回答においては、分野別質保証のための方法として、分野別の教育課程編成上の参照基準を策定することを提案している。

これを受けて、家政学分野の参照基準検討分科会が設置され、2012年3月より、「学士課程教育における家政学分野の参照基準」について検討を行って来た。本分科会の構成メンバーは、家政学分野の委員9名と生産農学分野の委員1名、教育学分野の委員1名からなっている。

本分科会では、家政学は「人間生活における人間と環境との相互作用について、人的・物的両面から、自然・社会・人文の諸科学を基盤として研究し、生活の向上とともに人類の福祉に貢献する実践的総合科学である。」との共通認識、更に、現在の社会は、経済的發展や技術の進歩と共に生活様式が大きく影響を受けて変化し多様化していること、一方では人の絆の大切さや、自然との共生の重要性が強調される状況にあり、生活に視点を置いた家政学の発展により大きな期待がかけられているとの共通認識のもとに、家政学分野の参照基準案の作成に向けて検討を行ってきた。

今後、最終的な「家政学分野の参照基準」を取りまとめることとなる。そこで原案のできた現段階で、多様な意見を聴取し、議論を深め「家政学分野の参照基準」に生かしていく事を目的として、今回、公開シンポジウムを開催することとなった。学士課程教育における家政学分野は、各種資格士を養成し社会に送り出していることもあるので、シンポジストとしては、家政学関連大学の関係者・関連する官界・実業界の識者等をお願いすることとした。

多数の参加者を得て、建設的な議論が展開される事を期待している。